

事業名	指導費		調査番号	20
細事業名	レセプト点検充実事業	財務コード	075802	
担当部課室	福祉保健 部 福祉保健総務 課 福祉企画・生活保護 担当 (内線)			3071

事業の概要

実施期間	始期 S47 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)(委託)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	生活保護受給者が医療機関を受診した際に診療報酬支払機関に請求される診療報酬明細書(レセプト)	レセプトの内容が適正か審査(単月・縦覧点検)することにより、医療費が適正に請求されている
結果、何に結びつけるのか	生活保護費(医療費)の適正給付	
内容	・県本庁で専門の診療報酬点検員(非常勤嘱託)を雇用し、県内全福祉事務所のレセプトの内容審査(単月点検)を行う。 ・単月では点検が不可能な内容については、各福祉事務所外部専門業者に委託し、レセプトの内容審査(縦覧点検)を行う。 < H27事業経費 > 国庫補助3/4 ・非常勤嘱託職員報酬等 ・縦覧点検委託料	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	レセプト点検件数	目標	81,787	84,572	108,592	117,110	124,566	130,524	131,705
		実績(見込)	103,932	113,251	120,969	128,162	132,886	130,524	
	目標:過去2年の実績の平均	達成率	127.1	133.9	111.4	109.4	106.7		
	達成区分	a	a	b	b	b			
成果指標	過誤件数(点検結果)	目標	1,776	1,868	1,544	1,645	1,926	1,689	1,688
		実績(見込)	1,959	1,129	2,161	1,691	1,686	1,689	
	目標:過去2年の実績の平均	達成率	110.3	60.4	140.0	102.8	87.5		
	達成区分	b	c	a	b	b			
決算(予算) 単位:千円		2,431	2,489	2,479	2,516	2,415	2,480	2,479	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	審査により1,686件の過誤が発見され、適正給付に資することができた。この過誤件数は目標の87.5%であり、意図した成果を上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	すべてのレセプトについて内容点検・縦覧点検が実施され、生活保護費の過誤給付がないようチェックされている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり))		
その他	説明	・福祉事務所の監査の際に、レセプト点検について指導している。 ・縦覧点検について、民間事業者を活用している。		
見直しの必要性	無	既に必要な対応をしており見直す余地がないため		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。